

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	01_北海道
市区町村名	01543美幌町
自治体区分	都道府県

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
01543美幌町	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	コロナ禍を経て、体験活動の機会が減少し、子どもたちの自主性や社会性、協調性を培う機会の確保とその充実が必要。	土曜日教育推進員との連携により、主として土曜日に開催する子どもたちの体験活動の機会を創出する。 ・子どもちよつと体験教室 子どもたちの職業観や社会性 ・チャレンジクッキング：自主性や協調性、食育	・通学合宿事業 3泊4日間宿泊を共にし、基本的な生活習慣を体験するとともに、地域の大人たちとの交流から協調性と多様性を育む ・子どもちよつと体験教室「公共交通機関利用事業」 社会性を育むことを目的に列車を活用した事業を展開	コロナ禍を経て、減少或いは停止した事業を新たな推進員との関わりから再会を目指すとともに、同年代と同年代の関わりや様々な年齢層との関りを通して、社会や協調について経験を積み、豊かな心を育む。	・具体的な展開事業数の増加 ・子どもたちと事業を通して関わりをもった人数	10	人	30	45	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた 事業に関しては、コロナ禍を経て支援員の体制も整備しつつあり、目標としていた事業に加えて新しく1事業増え開催することができた。 しかしながら、近年本町で増えつつある外国人技能実習生のお子さんが参加があり、意思疎通が日本語では難しい状況も見られ、今後の事業展開や用意するアンケートにも工夫が必要な点が多々見られた。 今後については、子どもたちへの取り組みではあるが包括的に多文化共生分野とも連携し、どのような環境な状況にあったとしても有意義かつ多様な経験が得られるよう整備をしていきたい。	美幌町ホームページ https://www.town.bihoro.hokkaido.jp